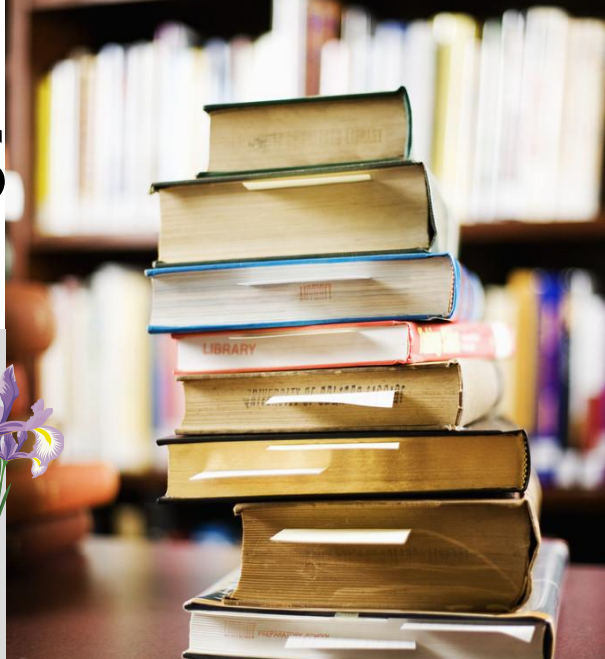


□ 仮間仕切り壁ができました

□ 私のお薦め本 第21回

三好暢博教授が『新・自然科学としての言語学』を紹介します

□ 図書館からのお知らせ



仮間仕切り壁ができました

先月の座席移動の際は、ご協力ありがとうございました。お陰様で無事に、南側に仮間仕切り壁が設置されました。この工事により **1,2階共に南側が全面壁となりました**。これから暖かくなる時期に窓を開けられなくなり、ご不便をおかけします。特に1階PCコーナーは、PC本体も発熱しますので、空気の流れを少しでも良くするため扇風機を設置しました。2階も合わせて空調等に気を配っていきたいと思いますが、ご利用の際にお気付きの点がありましたら、カウンターまでお声掛け下さい。

5月10日に新棟の渡り廊下を現在の図書館と接続する工事を行います。既存の図書館のコンクリート壁を砕くため、**大きな音と振動が発生します**。そして、6月以降は防火性の高い窓に更新するため、**仮間仕切りの向こう側でサッシ工事が始まります**。利用者の皆さまには、今後も工事に伴う騒音・振動などで何かとご迷惑をおかけしますが、どうぞご理解・ご了承ください。



↑ 閲覧室に向かうとドドーンと見える仮間仕切り壁
奥からPCコーナー方向を見る → 遠近法を感じます



工事に伴うサービスの変更点などは、随時ホームページにてお知らせしています。

<http://acesv.asahikawa-med.ac.jp/info/kouji.html>

騒音・振動でご迷惑をおかけします。





新・自然科学としての言語学: 生成文法とは何か (ちくま学芸文庫)
福井直樹 著 文庫新書コーナー BS/Shi

狭義のアカデミズムとは知の継承という人類の営みです。この営みを、数百年単位のスパンでとらえた際には、ごく短時間で、劇的にアプローチが転換する場合があります。

二十世紀中葉における認知革命は、多様な学問領域に多大な影響を与えました。脳の活動を計測する技術の進歩を背景とし、脳についての科学的な研究が急速に進展している昨今では、伝統的に心/精神の領域とされてきた文系の学問領域にも、近代科学の方法論が適用されるようになったのは周知の通りです。

2千年以上の歴史を持つ言語学にも、近代科学のアプローチが適用されています。半世紀ほど前、Noam Chomskyは、言語を自然物(Natural Object)として位置付け、言語が自然科学の対象であると主張しました。この主張は、生成文法という言語に対するアプローチとして、現代言語学に強い影響を与えています。

本書は、一般向けの生成文法の最良の入門書であるばかりでなく、その知的系譜に踏み込んだ本でもあります。なぜ、言語に対して、自然科学的なアプローチがなぜ有効なのか、明晰に論じられています。近代科学の科学論としても、非常に良く整理されており、非常に有益な本です。

図書館からのお知らせ

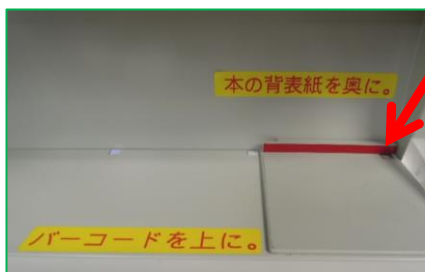


3月末に新しくなりました

自動貸出機の
使い方

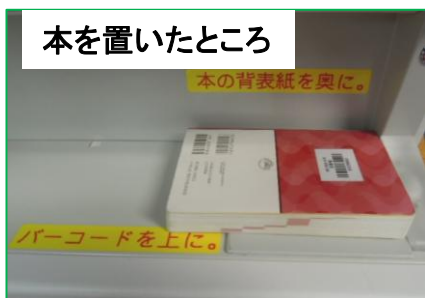
- ①画面の【貸出】または【延長】を指でタッチ。
- ②学生証・身分証をカードリーダに通す。
- ③借りたい本を1冊づつ、バーコードを上に、背表紙を奥にして、奥の赤い線に沿って置く。

(本を置く向きを間違うと処理が正しく行われません。退館しようとするときブザーが鳴り、退館できなくなります。)



赤い線はココ!

このコツをぜひ覚えて、便利にご利用ください。



- ④ゴトンと音がしたら、画面の【終了】を指でタッチ。
- ⑤レシートが出て来るので、返却期限を確認してください。



5月18日(日)
停電のため無人開館が
停止します!

時間 6:30~14:30
(終了時刻は予定です)

【予備日】5/25(日) 6:30~14:30 (終了時刻は予定です)

電気保安に関する定期点検の実施に伴い、停電します。上記時間帯は、無人開館の利用を停止します。利用者は全員、時間前に荷物を持って退館してください。

作業時間帯の入退館は一切できません

新課長着任のご挨拶

旭川医科大学の皆様初めまして。
4月に図書館情報課長に着任した樋口秀樹と申します。

現在図書館は、本紙1面にあるとおり、来春の完成に向けて増改築工事が真っ盛りです。

あわせて図書館システムの更新も予定しており、来春にはリアルもバーチャルも快適な図書館がオープンします。

工事期間中はご不便をおかけしますが、これまで以上に図書館をご愛顧くださいますようお願いいたします。